

下関市入札監視委員会（第20回）審議概要

開催日時	平成22年2月23日 13:30		
場所	下関市勤労福祉会館 第4会議室		
委員	中谷正行（弁護士） 太田周二郎（大学教授） 岡孝（高等学校教諭） 藤本博美（ファイナンシャルプランナー）		
審議対象期間	平成21年10月1日 ～ 平成21年12月31日		
審議対象総件数	280件	（抽出工事名称）	
抽出案件	条件付一般競争入札	146件	筋が浜・山陰処理区ネットワーク幹線布設工事
	指名競争入札	100件	下関市デイサービスセンターほのぼの外壁劣化改修工事
	随意契約	34件	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金六連島地区揚水施設整備工事
指名停止等の運用状況	4件4社		
議事概要及び委員からの意見・質問、それに対する回答等	議事項目、意見等	別紙のとおり	
	議事結果、回答	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし		

別紙

議事項目、意見・質問	議事結果、回答
<p>筋が浜・山陰処理区ネットワーク幹線布設工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク幹線布設工事とはどのような工事か。 	<ul style="list-style-type: none"> 下水道機能の安全性確保のため、老朽化した筋が浜終末処理場と山陰終末処理場のネットワーク化を図り、施工延長約1.4kmをシールド工法等により施工するもの。
<ul style="list-style-type: none"> 共同企業体による施工とした理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該工事は、大規模でかつ特殊な工法を用いる建設工事であることから、共同請負により施工することが適当であると判断されたため。
<ul style="list-style-type: none"> 入札に参加した共同企業体はいくつあったか。また、共同企業体の構成はどのようにしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 入札参加は7共同企業体であった。共同企業体は、代表構成員及び第1、第2構成員の計3社による構成とした。なお、第1構成員及び第2構成員については、市内業者の受注機会増進のため、市内に本店がある者とした。
<ul style="list-style-type: none"> 入札参加業者のうち、1者が除外になったのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本工事は最低制限価格を設定しており、入札の結果、最低制限価格に満たない者が1者あったため、落札外として除外した。

<p>下関市デイサービスセンターほのぼの 外壁劣化改修工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 豊北町及び近隣の町内業者を指名したのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般的な建築一式工事の実績があれば施工可能であることから、工事現場に近い業者に受注機会を与えるという考えにより指名した。
<ul style="list-style-type: none"> 施設の改修には基準等があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の改修工事は、施設が竣工以来31年間リニューアルされていなかったため調査を行った結果、劣化による危険性が確認されたため、施設利用者の安全確保から実施することとなったものである。
<p>農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 六連島地区揚水施設整備工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 揚水施設とはどのようなものか 	<ul style="list-style-type: none"> 農作物の栽培に必要な農業用水の供給を行う畑地かんがい施設である。
<ul style="list-style-type: none"> 契約業者による施工とした理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> 島内における農業用水設備等のほとんどを当該業者が施工しており、既存の機械設備等との連結など高度な専門性を有する施設整備工事において迅速かつ確実な対応ができるため。